

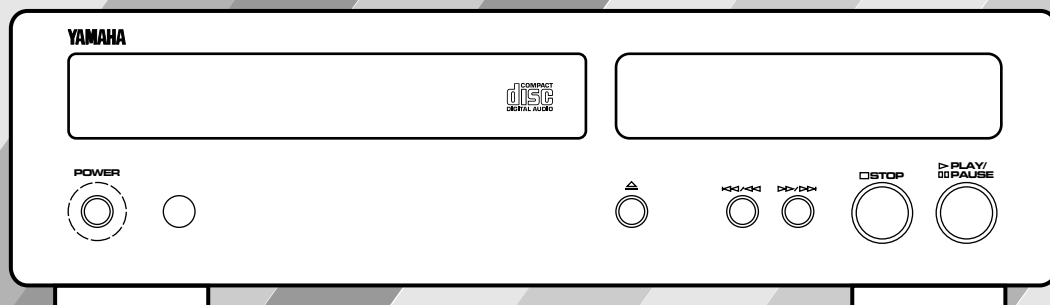
YAMAHA

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

CDX-10

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



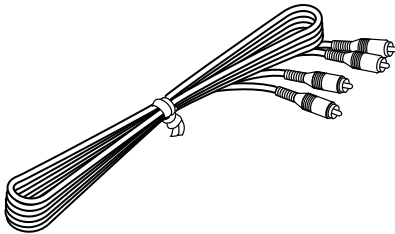
このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤ - CDX-10をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
CDX-10の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

目 次

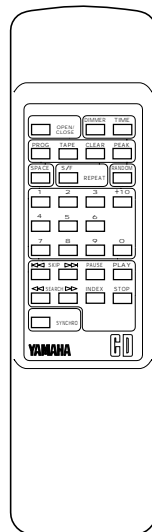
使用上のご注意	3	本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)	14
各部の名称とはたらき	4	本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音)	17
接続のしかた	6	ディスクの取り扱い	18
基本的な演奏	7	リモコンについて	18
曲を順不同に聞く(ランダム演奏)	10	故障かな?と思ったら	19
繰り返し演奏する(リピート演奏)	10	参考仕様	19
好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム演奏)	11	ヤマハホットラインサ - ビスネットワ - ク	20
インデックス番号を指定して聞きたい ところを演奏する(インデックスサ - チ)	12		
設定した時間に演奏を開始する(タイマー演奏)	13		

ご使用の前に

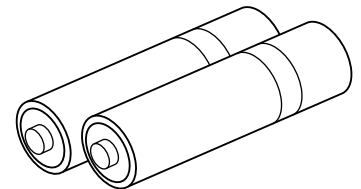
付属品を確認してください



出力コード(ピンプラグコード)



リモコンユニット



単3乾電池 (SUM-3) 2本

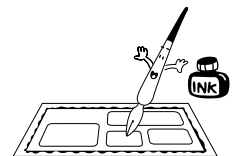


これは電子機械工業会 「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を開けたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなでお楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

保証書の手続きを



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万が一サ - ビスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。

使用上のご注意

電源

国内のみでご使用ください。
家庭用電源コンセント(AC100V)に接続してください。
上記以外の使用は動作不良や故障の原因になります。

電源コード

電源コードをひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください)
電源コードの上に重い物をのせないでください。
電源コードが断線したり、感電の原因になります。

本体

キャビネットは開けないでください。
本体に金属類(針・硬貨など)を落とさないでください。本体に液体(水・アルコールなど)をこぼさないでください。
本体にもえやすい物(紙・布など)を落とさないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

設置場所

不安定な台の上や、傾いた所には置かないでください。
落ちたり倒れたりすると危険です。
湿気の多い所、ほこりの多い所、直射日光の当たる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所、極端に寒い所には置かないでください。
動作不良や故障の原因になります。

雑音

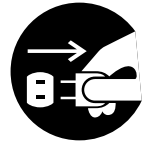
本機を再生中にチューナーから雑音がでたり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

結露

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置してからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

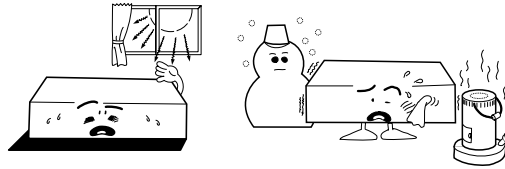
長期間使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
不慮の事故で火災の原因になります。



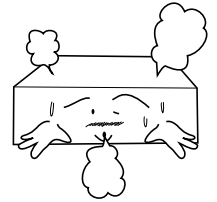
高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40以上)、温度の特に低い場所(周囲温度-5以下)は、さけてください。



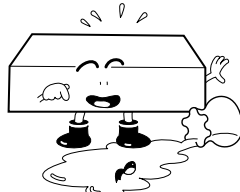
セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には放置しないでください。



ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花瓶や金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。



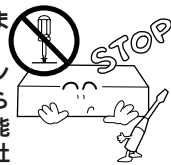
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。



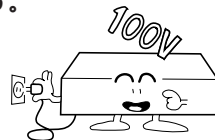
開けないで！

本機のケースを開けたり、改造したりしないでください。故障や感電の原因となります。当社の指定したサービスマン以外によってケースが開けられた場合には、その後の性能および品質については、当社は一切責任を負いません。

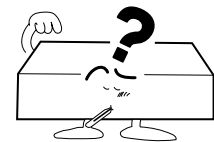


国内のみ使用可

必ずAC100Vの家電用電源コンセントに接続してください。AC100V以外では絶対にご使用にならないでください。故障や事故の原因となります。



こわれた？

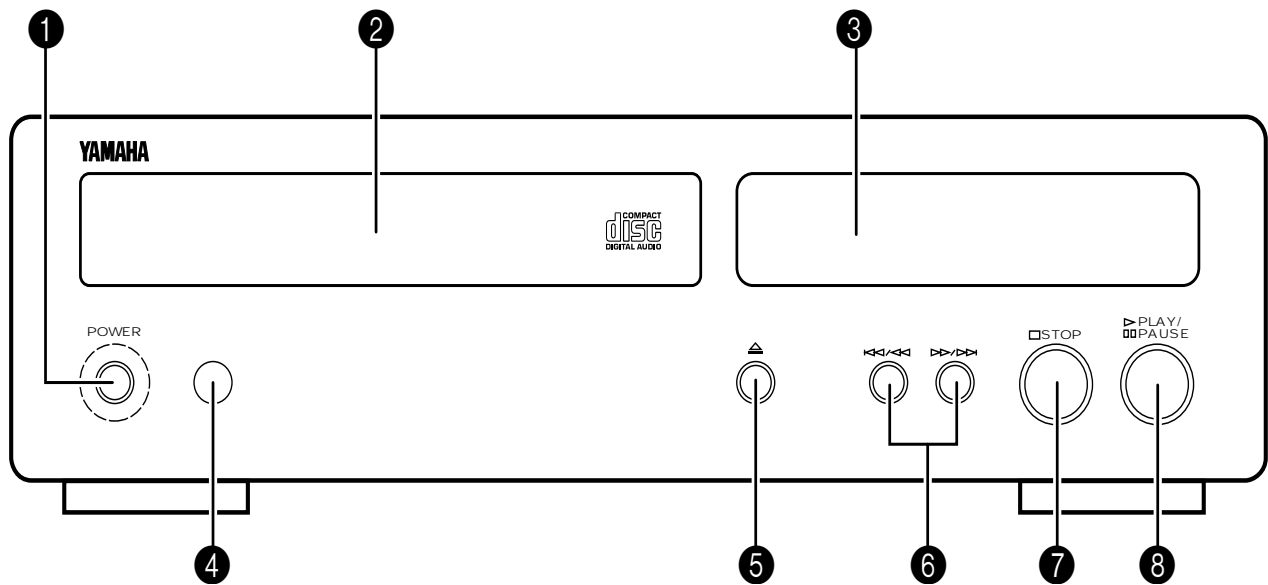


P.19の「故障かなと思ったら」をご覧ください。

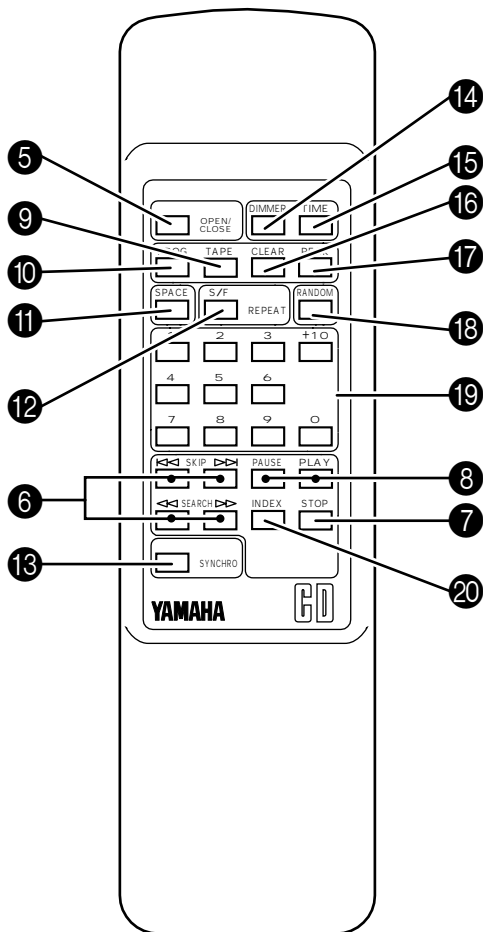
あなたがCDから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。







各部の名称とはたらき

フロントパネル



リモコン



- ① POWER
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- ② ディスクトレイ
ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSE ()を押すと開き、もう1度押すと閉じます。ディスクトレイは手で軽く押ししても、PLAY/PAUSE や RANDOM または数字キーを押しても閉じることができます。
- ③ ディスプレー
この部分はP. 5を参照してください。
- ④ リモコン受光部
付属のリモコンからの信号を受ける窓です。
- ⑤ OPEN/CLOSE ()
トレイを開閉するときに押します。
- ⑥ SKIP (, ) /SEARCH (, )
押すごとに曲の頭出し(SKIP)ができ、押し続けると早送り、早戻し(SEARCH)ができます。プログラムのチェックなどにも使います。また、リモコンではSKIPとSEARCHの2つに独立しています。
- ⑦ STOP
演奏を止めるときに押します。
- ⑧ PLAY/PAUSE
演奏をスタート/一時停止(ポーズ)させるキーです。また、リモコンではPLAYとPAUSEの2つに独立しています。
- ⑨ TAPE
テーププログラムの設定のときに使います。
- ⑩ PROG
プログラムの設定や確認などに使います。
- ⑪ SPACE
曲間に4秒間のスペースを入れます。
- ⑫ REPEAT
押すごとにシングルリピート演奏、フルリピート演奏、通常演奏と切り替わります。

13 SYNCHRO
カセットデッキとシンクロ録音するときに使います。

14 DIMMER
押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。

15 TIME
押すごとに時間表示を切り替えます。
“表示なし”：現在演奏中の曲の経過時間
REMAIN：現在演奏中の曲の残り時間
TOTAL：ディスクの総演奏時間
TOTAL REMAIN：ディスクの演奏残り時間

16 CLEAR
プログラムを解除するときに押します。

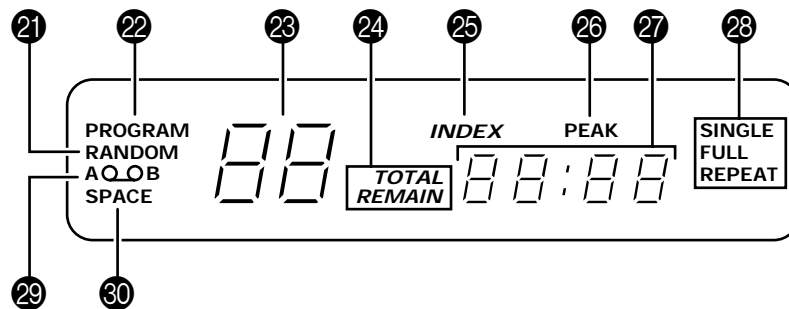
17 PEAK
ディスク内の最大音量箇所をさがすときに使います。

18 RANDOM
押すと順不同に曲を演奏します。

19 数字キー（+10、1~0）
選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。

20 INDEX
インデックスサーチのとき押します。

ディスプレイ



21 RANDOM インジケータ
ランダム演奏中に点灯します。

22 PROGRAM インジケータ
プログラムの設定時やプログラム演奏中に点灯します。

23 トラック(曲番)インジケータ
演奏時やプログラム設定時に曲番を表示します。
ディスクをセットして [OPEN/CLOSE] でディスクトレイを開じると、数秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

24 TOTAL/REMAIN インジケータ
[TIME] を押すごとに時間表示の内容が変わります。

25 INDEX インジケータ
[INDEX] を押すと点灯します。

26 PEAKインジケータ
[PEAK] を押すと点灯します。

27 タイムインジケータ
演奏時間を表示します。

28 SINGLE REPEAT/FULL REPEAT インジケータ
リピート演奏の種類が“SINGLE”シングルリピートか“FULL”フルリピートかを表示します。

29 テープインジケータ
テーププログラムを使って録音するときにこのインジケータを点灯させます。

30 SPACEインジケータ
曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。

接続のしかた

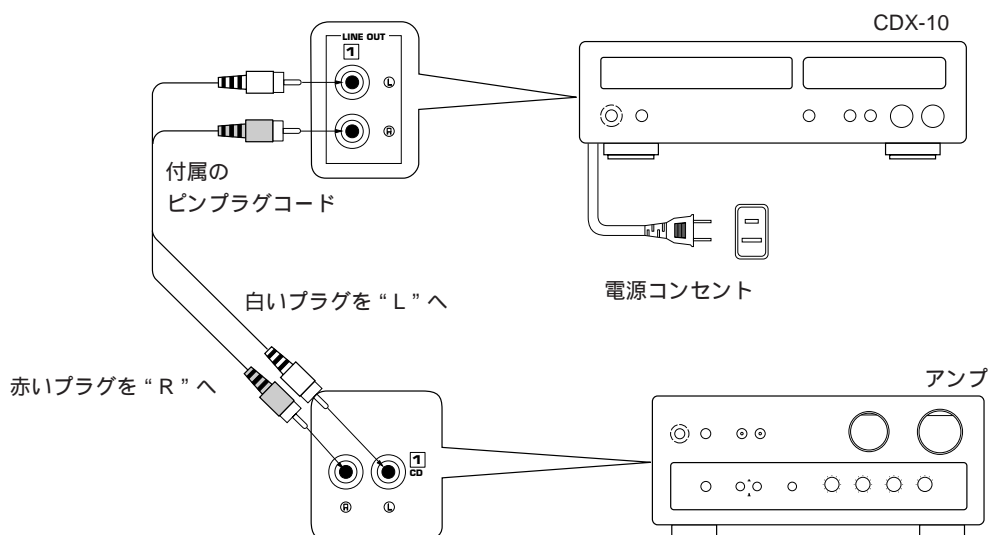
接続をはじめる前に、必ず各機器の電源を切ってください。
接続するアンプによっては端子名が異なるものがあります。
接続するアンプの取扱説明書も参照してください。

本機はアナログ (LINE OUT)、デジタル (DIGITAL OUT) の2系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する接続端子をお選びください。

アナログ出力端子に接続する場合

本機の LINE OUT 端子を、付属のピンプラグコードを使ってアンプの CD (アナログ) 端子に接続します。

接続は、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認したのち、正しくおこなってください。

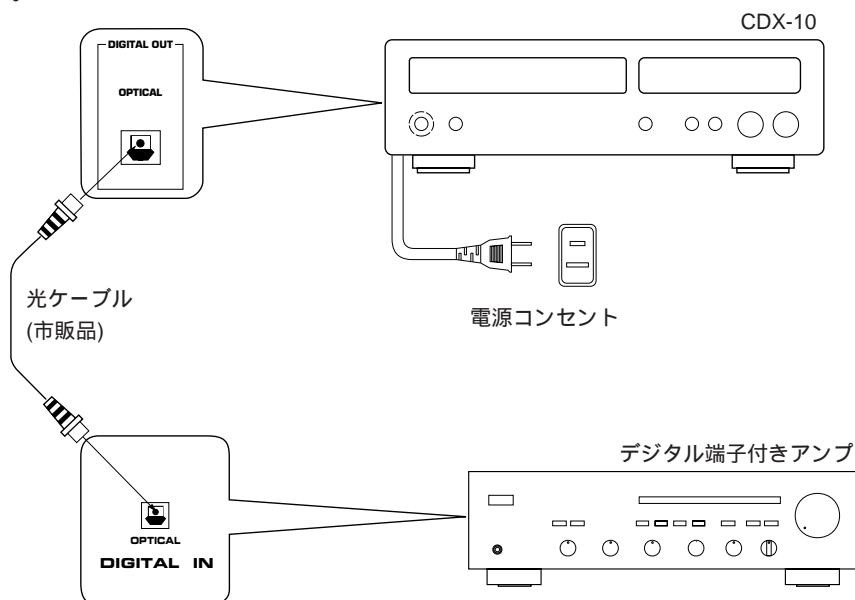


デジタル出力端子に接続する場合

本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子のカバーを取り外し、市販の光ケーブルを使用してアンプの光端子へ接続します。

本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子を使用しない場合は、ほこり等の侵入を防ぐため、常にカバーをはめたままの状態にしておいてください。

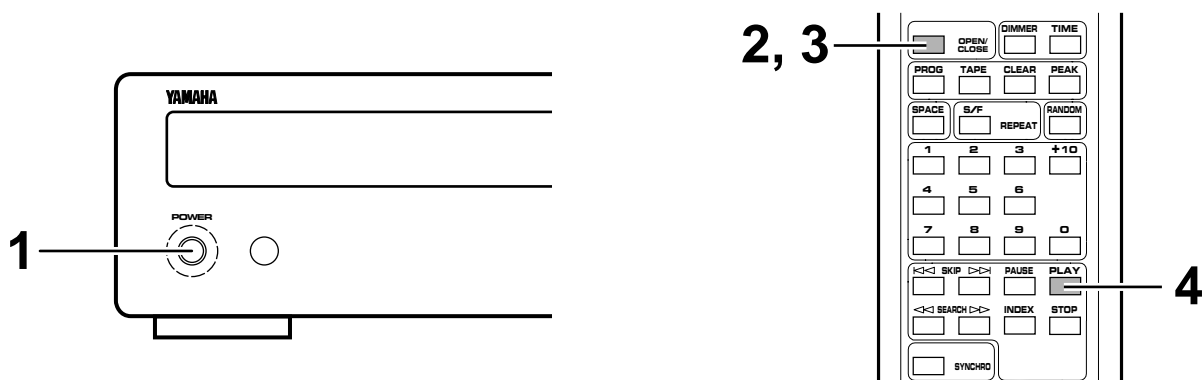
本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子は EIAJ 規格にもとづき設計されています。EIAJ 規格を満たさない光ケーブルを使用しますと、正常に動作しないことがあります。



本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子をデジタル録音機器 (DAT など) の光入力端子に接続すれば、CD のデジタル音声をデジタルのまま録音することができます。

基本的な演奏

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。
本体のフロントパネル上で操作する場合は対応するキーをご使用ください。



1 **POWER** を押し、電源を入れます。

POWER

2 **OPEN/CLOSE** を押してトレイを開け、ディスクをセットします。

レーベル面を上にして、溝の内側に置く。

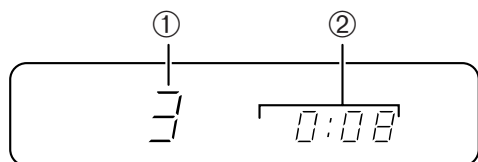
ディスクトレイ

3 **OPEN/CLOSE** を押します。
トレイが閉じます。

4 **PLAY** を押します。
ディスクの最初から演奏がはじまります。

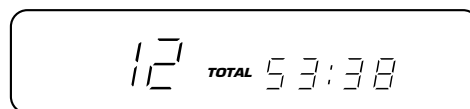
CDは従来のアナログレコ - ドやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

演奏中の表示について



- ① 演奏中の曲番を表します。
- ② 演奏時間を表します。
(詳しくは、P. 9『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)

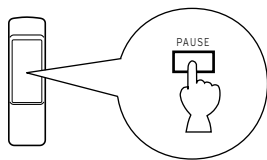
総演奏時間の表示について



OPEN/CLOSE を押してトレイを閉じたとき、ディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。
PLAY、**+10**、**1 ~ 0**、**RANDOM** を押したとき、またはトレイを手で押して閉じたときは演奏が自動的に始まり、総曲数、総演奏時間は表示しません。

本機の電源を切るには
もう一度 **POWER** を押します。

一時的に演奏を止めるには



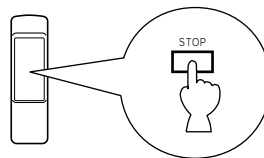
PAUSE を押します。

押したところで一時停止(ポーズ)になります。

再び演奏をはじめするには **PAUSE** (もしくは **PLAY**) を押します。

本体の **PLAY/PAUSE** でも同じ操作が可能です。

演奏を停止するには

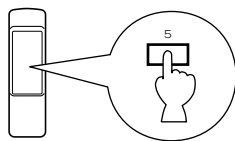


STOP を押します。

好きな曲を聞くには

ダイレクト演奏

数字キー **+10**、**1** ~ **0** で曲番を指定します。指定した曲の演奏が自動的に始まります。



曲番10以上を指定するには

+10 を押して10の位を決め、次に1の位を **1** ~ **0** ボタンで指定します。

(例) 曲番12

+10 を押して
2 を押す。

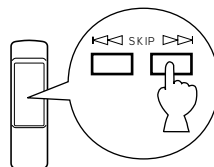
(例) 曲番24

+10 を2回押して
4 を押す。

ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定すると、最後の曲を演奏します。

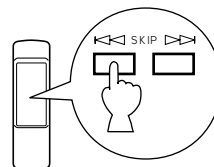
飛び越し選曲

今、演奏している曲より後の曲を聞くには



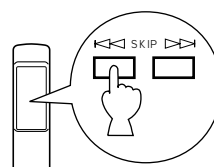
1回押す。
(押した回数だけ後の曲に飛び越します。)

今、演奏している曲の頭から聞くには



1回押す。

今、演奏している曲より前の曲を聞くには



2回続けて押す。
(押し続けると曲番1まで戻ります。)

飛び越し選曲はポーズ中や停止中にもできます。選曲が終わったら **PLAY** を押して演奏をはじめます。

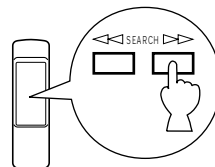
本体キーを使用する場合、押し続けると早送りや早戻し (SEARCH) になりますので、注意してください。

早送り、早戻しをするには

演奏中や一時停止中に、ディスクの内容を早送りまたは早戻ししながら聞きたいところをさがすことができます。

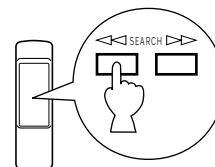
演奏中に操作すると音が小さく聞こえます。一時停止中に操作すると音は聞こえません。

早送り



押し続けている間、早送りします。

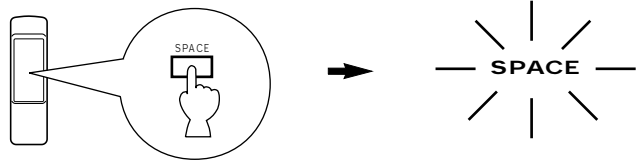
早戻し



押し続けている間、早戻しします。

オートスペースについて

曲間が十分でないディスクの場合、そのままテープに録音してもテープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。そのような場合、あらかじめ録音時に [SPACE] を押して各曲間に約4秒間のスペースを挿入しておく、デッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。



TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIME はスペース時間を加えた時間表示に変わります。

ディスクにもともと約4秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない場合は、オートスペースを入れる必要はありません。

オートスペースの解除

もう1度、[SPACE] を押すと解除されます。

演奏時間表示の切り替え

[TIME] を押すごとに次のように切り替わります。

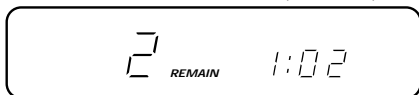
現在演奏中の曲の経過時間 (“表示なし”)



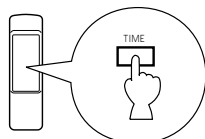
(2曲目の頭から2分35秒経過)



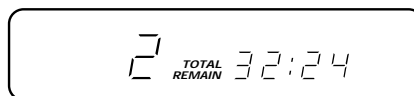
現在演奏中の曲の残り時間 (REMAIN)



(2曲目の終わりまであと1分2秒)



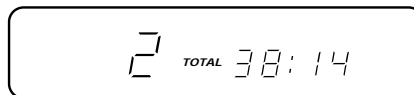
今、演奏しているところからディスクの最後まで残り演奏時間 (TOTAL REMAIN)



(ディスクの終わりまであと3分24秒)



ディスクの総演奏時間 (TOTAL)

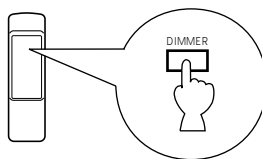
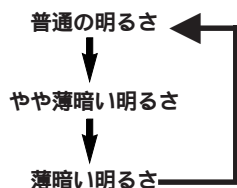


(ディスクに入っている総演奏時間は3分14秒)

曲番 25、もしくはそれを越える曲を演奏する場合、その曲の残り時間は表示されません。

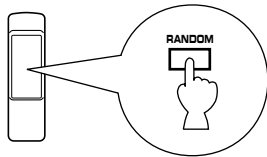
ディスプレイの明るさの切り替え

[DIMMER] を押すごとにディスプレイの明るさが次のように切り替わります。



曲を順不同に聞く(ランダム演奏)

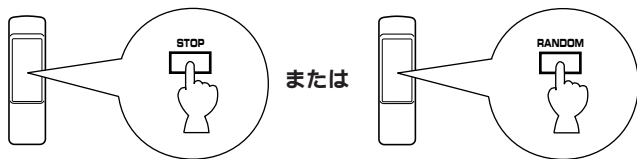
[RANDOM] を押します。



トラック(曲番)インジケータの表示が回転したのち、本機がディスクの曲を順不同に演奏しはじめます。

ランダム演奏の解除

[STOP] または [RANDOM] を押します。また [OPEN/CLOSE] を押してトレイを開けると解除されます。



ランダム演奏はプログラムを設定しているときや、プログラム演奏中ではできません。

ランダム演奏中に [SKIP▷▶] を押すと次に演奏される曲に移ります。

[SKIP◀◀] を押すと演奏している曲の頭に戻ります。

ランダム演奏中に電源を切り、その後タイマーセットなどにより再び電源が入れば、ランダム演奏が自動的ににはじまります。

ランダム演奏中には TOTAL REMAIN 時間は表示されません。

繰り返し演奏する(リピート演奏)

[REPEAT S/F] を押します。

押すごとにリピート演奏モードが変わります。

シングルリピート

(ディスプレイに“ SINGLE REPEAT ” が点灯します。)

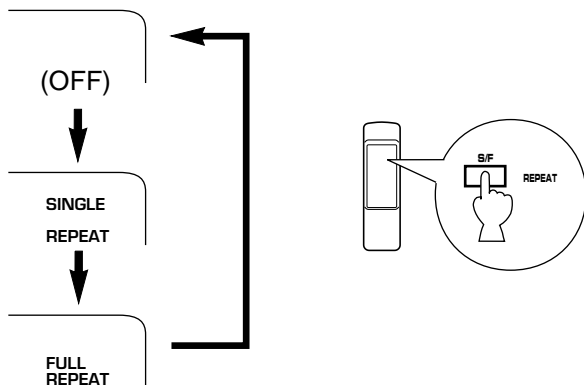
指定した1曲、または演奏中の曲を繰り返し演奏します。

フルリピート

(ディスプレイに“ FULL REPEAT ” が点灯します。)

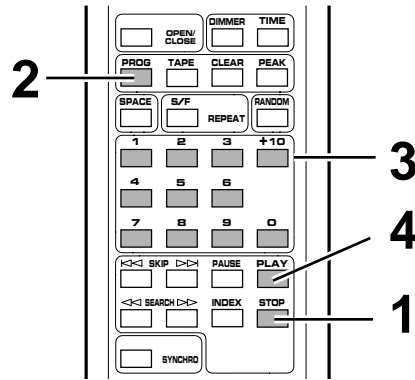
ディスクまたはプログラムをした曲の全曲を繰り返し演奏します。

ランダム演奏も同じ演奏順序でリピート演奏されます。

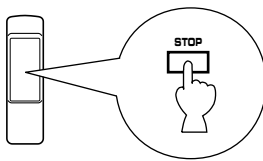


好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム演奏)

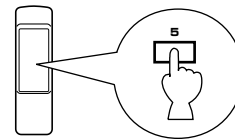
最大 25 曲までプログラムできます。



1 [STOP] を押して停止状態にします。

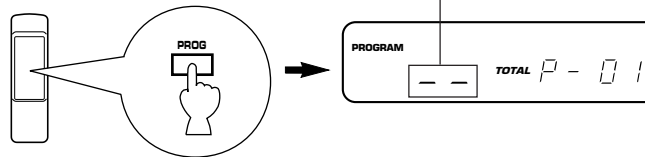


3 プログラムする曲を数字キー [+10]、[1] ~ [0] で選びます。

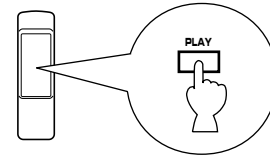


この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。
同じ曲を 2 度以上プログラムすることもできます。

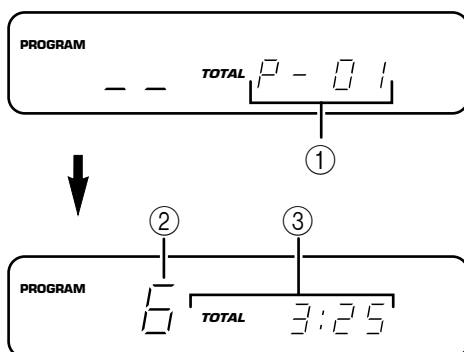
2 [PROG] を押します。



4 [PLAY] を押すとプログラム演奏がはじまります。



プログラムしているときの表示



ご注意

プログラムした曲の飛び越し選曲するには：

[SKIP] (<<または>>)を押します。プログラムした曲の中だけで飛び越し選曲し、プログラムしていない曲には移りません。

早送り、早戻しについて：

[SEARCH] (<<または>>)を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。

プログラム中に一時停止(ポーズ)を 1 回挿入することができます。

プログラムの際、一時停止(ポーズ)を挿入したいところで、数字キーの代わりに [TAPE] を押します。

このとき、ディスプレイに " O O B " が点灯します。

[一時停止(ポーズ)が挿入されたことを表します。]

曲番が 25、もしくはそれを越える曲番をプログラムした場合、総演奏時間は表示されません。

- ① 何番目にプログラムされるかを表す
- ② プログラムした曲番
- ③ 今までプログラムした曲の総演奏時間

総演奏時間が 100 分を越えると下 2 ケタの数字しか表示されません。

手順 2 において、[PROG] を押してもディスプレイに " P-01 " が現れない場合は、[TIME] を 1 回押してください。

プログラム演奏を止めるには：

[STOP] を押します。ディスプレイには最初にプログラムした曲番が
出ます。演奏を再びはじめるには [PLAY] を押します。
プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには：

プログラム設定が終わったとき ([PLAY] を押す前)、または
停止状態のときに [CLEAR] または [STOP] を押します。
プログラムした内容はすべて消え、通常の演奏モードになります。
また、トレイを開けたり電源を切るとプログラムは解除されます。

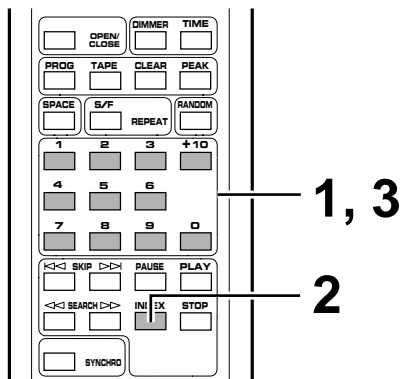
プログラムを確認する、または訂正するには：

この操作をするときは停止状態にしてください。

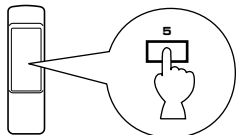
1. [PROG] を押します。
2. [SKIP] を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを
確認できます。
プログラムを訂正するときは、[SKIP] (<<または>>) を押して訂
正したい曲番を表示させ、正しい曲番を数字キー [+10]、[1] ~ [0]
で入力します。訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
3. [PROG] を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後
すぐに演奏をはじめるときは [PROG] のかわりに [PLAY] を押します。

インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する(インデックスサーチ)

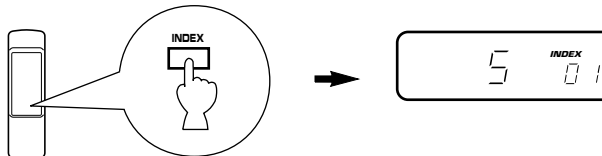
インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定してそこから演奏をはじめることができます。



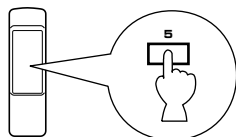
- 1** 数字キー [+10]、[1] ~ [0] で曲を選びます。



- 2** [INDEX] を押します。“INDEX” が表示されます。



- 3** 数字キー [+10]、[1] ~ [0] でインデックス番号を指定します。



インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分(たとえばクラシック曲の楽章など)に
区切り、番号付けしたものがインデックスです。インデックスが記録され
ているディスクには、解説書に (INDEX) マークがついています。

ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定
すると、最後のインデックスから演奏がはじまります。

ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏がはじま
ることがあります。

インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指
定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。

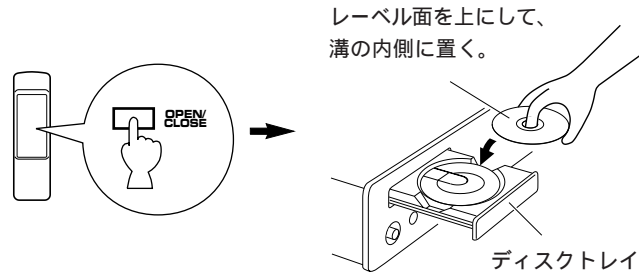
通常の演奏状態に戻すには、もう一度 [INDEX] を押します。
“INDEX” がディスプレイから消えます。

設定した時間に演奏を開始する(タイマ - 演奏)

市販のオ - ディオタイマ - と組み合わせることで、設定した時間にディスクの演奏を開始することができます。

1 本機とアンプの電源を入れます。

2 **OPEN/CLOSE** を押してトレイを開け、ディスクをセットします。



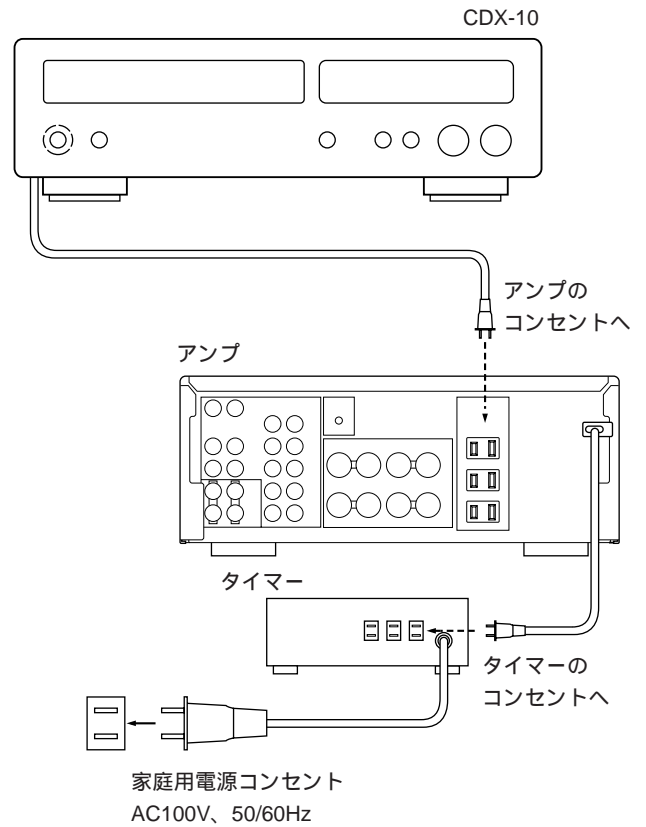
3 この時点で、タイマ - 演奏を開始する際の音量を、アンプで調節してください。

ランダム演奏、またはリピ - ト演奏の設定も可能です。

4 タイマ - の設定をします。

タイマーで演奏開始時間、終了時間を設定してください。
タイマ - の時間設定は、タイマ - の取扱説明書を参照してください。

以上の操作により、設定された時間になれば、演奏がはじまります。

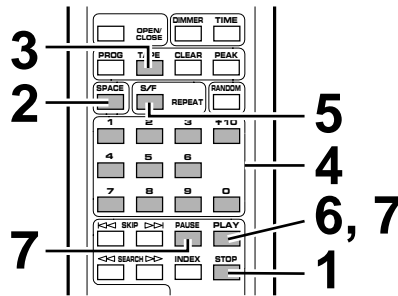


本機のプログラム機能を使ってテープ録音する(テーププログラム)

ディスクをテープに録音するとき便利なプログラム機能です。

テープの長さを本機にメモリーさせることにより、テープの余り時間を最少限に抑えてプログラムすることができます。

曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは
(オートテーププログラム)

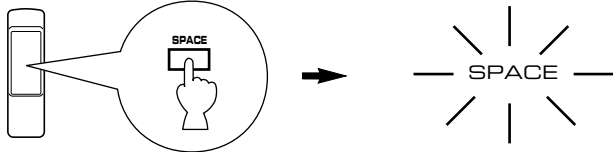


1 [STOP] を押して停止状態にします。

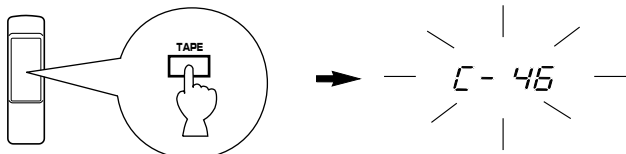


デッキ側で録音レベルの設定をする際、本機のピークサーチ機能を利用すると便利です。
(詳しくは、P.16『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

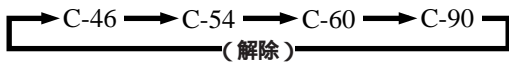
2 必要であれば [SPACE] を押します。
各曲間に約4秒間のスペースが挿入されます
(詳しくは、P.9『オートスペースについて』を参照してください。)



3 [TAPE] を押します。

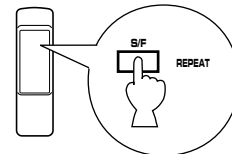


[TAPE] を押すごとに、テープの長さ(テープの時間)の表示が次のようになります。使用するテープの長さと同じものを選んで下さい。



4 使用するテープの長さが手順3で選択できない場合、数字キーでテープの長さを入力します。
(例) C-64のカセットテープ(片面32分)の場合、まず手順3で [TAPE] を押した後、[6]、[4] を押します。
最大99分まで設定できます。
テープの長さを変更するときは続けて入力します。

5 [REPEAT] を押します。



本機がディスクの曲順を変えずにテープの長さに合わせてA面、B面にプログラム(最大24曲まで)します。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の [PLAY] を押します。
オートテーププログラム演奏がスタートします。

7 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。
デッキを操作してテープのB面を録音状態にし、本機の [PLAY] を押します。
残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音が始まります。

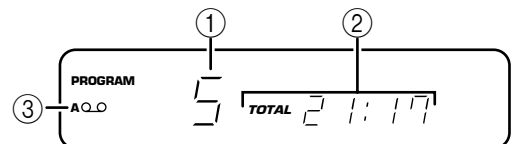
ご注意

使用するテープの時間がディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、録音できない曲がでることがあります。

(例) 総演奏時間が45分50秒に対し、カセットテープがC-46(片面23分)であっても録音できない曲のでることがあります。

全曲収録するためには、十分な時間のテープを使用してください。

手順5において [REPEAT] を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。



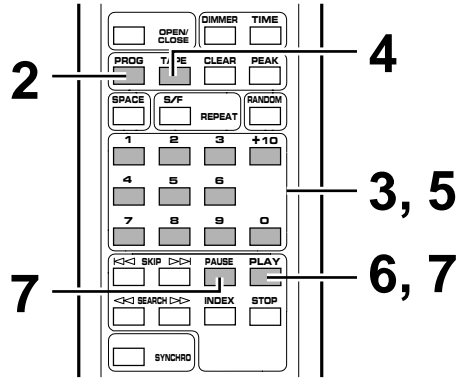
① プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。

② プログラムされた曲の総演奏時間

③ A面または、B面を表示

使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順6と7にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、P.17『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

曲順を変えてテープ録音したいときは
(マニュアルテーププログラム)



1 P. 14 『オートテーププログラム』の手順 1, 2, 3, 4 と同じ操作をします。

2 **PROG** を押します。
点減します。

3 テープA面に録音したい曲を好きな順に、数字キーで選びます。

曲番を押すごとにA面の残り時間が表示されます。

4 **TAPE** を押します。
ポーズ状態が挿入され、テープB面に切り替わります。

5 テープB面に録音したい曲を好きな順に、数字キーで選びます。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **PLAY** を押します。
テーププログラム演奏がスタートします。

7 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにして、本機の **PLAY** を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。

ご注意

テープ片面の残り時間を越える曲番を入力すると“E r r”(エラー)表示をして受け付けません。
手順 3 と 5 にて、曲番を選ぶごとにその曲番とテープの残り時間が表示され、次のプログラムの入力待ちの表示“P”に変わります。
使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順 6 と 7 にてシンクロ録音が可能です。
(詳しくは、P. 17 『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

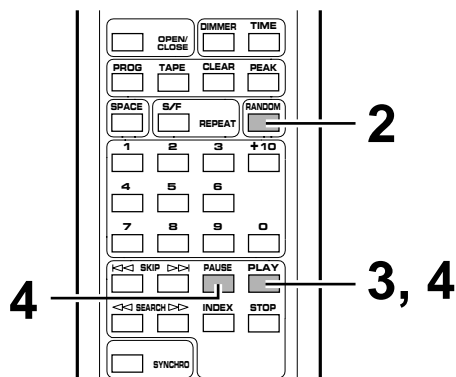
テーププログラムについて

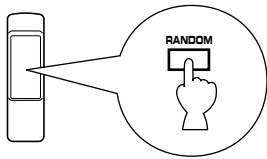
最大 25 曲(P-01 から P-25)までプログラムすることができます。
ただし、一時停止状態の挿入も 1 プログラムとして数えられます。
(この場合、プログラムできる曲は実質 24 曲となります。)
プログラムできる曲番は最大 24 までです。25 曲以上入ったディスクの場合、曲番 25、もしくはそれを越える曲番はプログラムできません。

テーププログラムの解除

STOP を押します。
CLEAR を押します。
“PROGRAM”と“A Q O B”が消灯します。
テーププログラムのチェック・変更・追加
(P. 12 『プログラムを確認する、または訂正するには:』を参照してください。)

本機に順不同に自動選曲させて録音したいときは (ランダムテーププログラム)



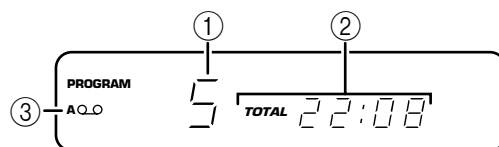
- 1 P. 14 『オートテーププログラム』の手順 1, 2, 3, 4 と同じ操作をします。
- 2 **RANDOM** を押します。


自動的に本機がディスクの曲を順不同にして、テープの片面時間に収まる曲の組み合わせで A面、B面にプログラム (最大 24曲まで) をおこないます。
- 3 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **PLAY** を押します。
ランダムテーププログラム演奏がスタートします。
- 4 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。
デッキを操作してテープB面に録音ができるようにし、本機の **PLAY** を押します。
テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。

ご注意

ランダムテーププログラムでは、使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダム組み合わせにより収録できない曲がでることがあります。そのときは、**TAPE** と **RANDOM** を幾度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音を開始してください。また、テープの長さを変更するときは、**TAPE** を押してください。

手順 2 において **RANDOM** を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

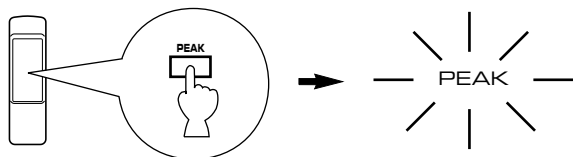


- ① プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
 - ② プログラムされた曲の総演奏時間
 - ③ A面または、B面かを表します
- 使用するデッキがシンクロ録音対応のものならば、手順 3 と 4 にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、P. 17 『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)

ディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがし出し、繰り返し演奏します。
この機能はテープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。

- 1 **STOP** を押して停止状態にします。
- 2 **PEAK** を押します。



本機がディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがします。
サーチ終了後、その部分を繰り返し(リピート)演奏します。
この演奏をもとに、デッキ側で録音レベルを調整します。

ピークレベルサーチを解除するには **STOP** を押します。

ご注意

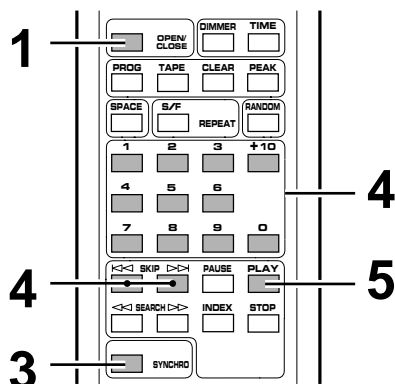
同じディスクでピークレベルサーチを 2 回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピューターが、そのつどランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。
ピークレベルサーチはプログラムが設定された状態でも可能です。その場合、プログラムされた曲の範囲内でサーチがおこなわれます。

本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)

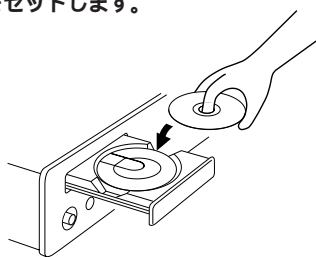
この機能により、テープ録音が簡単かつ正確におこなえます。

シンクロ録音には、シンクロ録音対応のヤマハテープデッキが必要です。(使用するデッキがシンクロ録音対応かどうかは、デッキの取扱説明書を参照してください。)

シンクロ録音では、本機に付属のリモコンからの信号を、本機とデッキが同時に受信する必要があります。そのため本機とデッキは必ず近づけて設置して下さい。



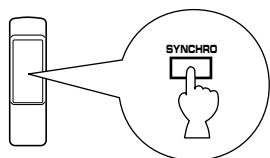
1 ディスクをセットします。



2 デッキにテープをセットします。

本機のピークレベルサーチ機能は、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。(詳しくは、P.16『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

3 **SYNCHRO** を押します。

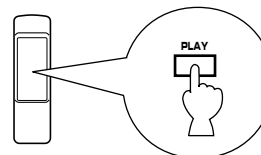


本機がPAUSE状態になりデッキはREC/PAUSE状態になります。ディスプレイのタイムインジケーターが点滅します。

4 必要であれば、あらかじめ希望する曲を選曲しておきます。



5 **PLAY** を押します。



ディスクの演奏とテープ録音が始まります。

ディスクの演奏より少し先に録音が始まります。

6 録音を一時停止し、希望する曲から録音を再開したい場合は、手順3~5をくり返してください。

シンクロ録音機能を解除するには

STOP を押します。

ご注意

録音を終了、または停止させるには、テープデッキ側で適切な操作をしてください。

プログラムされた曲を録音する場合にも、シンクロ録音が使えます。(プログラムの手順はP.11~12を参照してください。)

この機能はテーププログラム機能と合わせて使用できます。

(テーププログラムの方法はP.14~16を参照してください。)

ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。

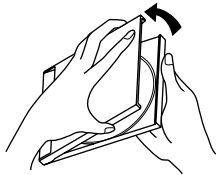
 マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

規格外のディスクはご使用にならないでください。

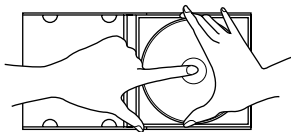
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

ケースからの取り出しかた

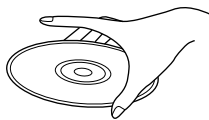
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



取り扱いの注意

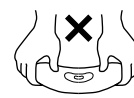
信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりや汚れは、音には影響ありません。



レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。



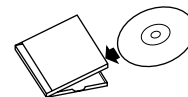
曲げたりしないでください。



信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



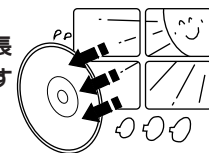
演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。

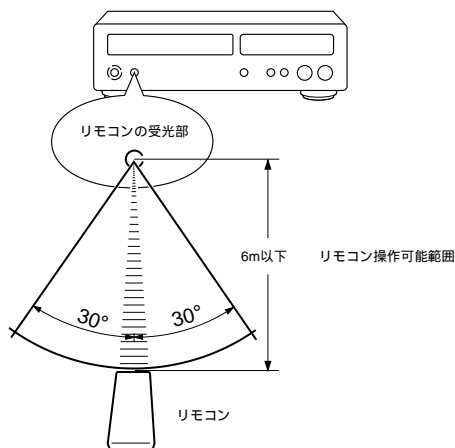


直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光部の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは...

RS機器用です。

もし本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

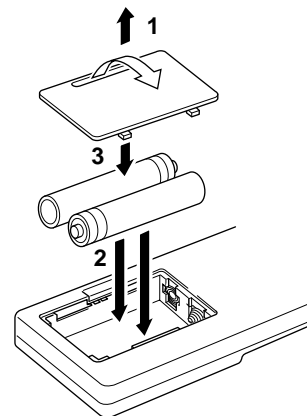
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3型(SUM-3)乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- ・ 単3乾電池をご使用ください。
- ・ 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- ・ 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所を変えてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンユニットが受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	受光部に強い日光や照明(インバータ蛍光灯など)が当たっている	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置をくふうしてください

参考仕様

形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム	
オーディオ特性		
周波数特性	2Hz ~ 20kHz ± 0.3dB	
高調波歪率(1kHz)	0.0022%	
S/N比	118dB (EIAJ)	
ダイナミックレンジ	98dB以上	
ワウ・フラッター	測定検知限以下	
出力電圧	2.0 ± 0.5V	

総合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	9W
外形寸法(W × H × D)	280 × 82.5 × 354mm
重量	3.8kg
付属品	出力コード リモコンユニット 単3乾電池 (SUM-3) × 2

仕様及び外観は改良のため変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証の期間は

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

修理料金の仕組み

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材費等を含む場合もあります。

出張費

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 〒064 Tel(011)512-6108
仙台	仙台市若林区卸町5-7 〒983 仙台卸商共同配送センター3F Tel(022)236-0249
首都圏	川崎市中原区木月1184 〒211 Tel(044)434-3100
東京	(お持ち込み修理のみ取扱い) 東京都港区高輪2-17-11 〒108 Tel(03)5488-6625
浜松	浜松市上西町911ヤマハ(株)宮竹工場内 〒435 Tel(053)465-6711
名古屋	名古屋市中川区玉川町2-1-2 〒454 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F Tel(052)652-2230
大阪	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 〒565 Tel(06)877-5262
広島	広島市安佐南区西原6-14-14 〒731-01 Tel(082)874-3787
四国	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック高松店内 〒760 Tel(0878)22-3045
九州	福岡市博多区博多駅前2-11-4 〒812 Tel(092)472-2134

お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

TEL (03)5488-5500

〒108 東京都港区高輪2丁目17-11

愛情点検



長年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に動作しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

Tel(053)460-3451

品質保証室

Tel(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA

VS33610